



NPO PTPL “ともいき” 便り No.57

平成 26 年（2014 年）8 月 7 日発行

■立秋（りっしゅう） 8 月 7 日から 8 月 22 日までの節気

元日から数えて 219 日、立秋です。朝夕にどことなく秋の訪れを感じるという節気ですが、それは旧暦でのこと。次の俳句がそれを語っています。

・ 立秋や時なし大根また捲かん 高濱 虚子

・ 秋たつや川瀬にまじる風の音 飯田 蛇笏

こんな風情ある暮しを、ふた昔まえの俳人はうたっています。が、秋の風どころか、

これからが暑さピークといった 2014 年です。皆さんお元気ですか。

豪雨に襲われ水害をこうむった西日本や北海道の皆さんがお気の毒です。そして NHK は熱中症への注意を繰り返しています。ぼくの子どものころ（戦前）は、熱中症という言葉はありませんでした。「日射病になるわよ、帽子を忘れないで！」と、母の注意が甦ります。

地球温暖化をなんとかしなくては。地球の健康を狂わせてきたのは文明と市場原理・経済優先でしょう。欲は程よく、足りることを知る。なかなかできないことですが。国連は温暖化防止を最重要課題に取り組んでほしい。日本はその緊急提案をしてほしい。日本は、そういう公的見地からの国際貢献をしてほしい。

と、つい、思ってしまう。

立秋のころといえは 8 月 6 日、広島に人類初の原子爆弾が投下された日を忘れることはできません。一瞬の閃光。爆風、瓦解する建物、火災。その日一日で 14 万人の広島市民が死亡したという。正しくは、一発の米軍の原子爆弾に殺されたのです。ほとんどは一般市民、非戦闘員でした。

原爆投下の年 1945 年に生まれた俳優の吉永小百合さんは、何年にもわたって「原爆詩」の朗読をつづけてこられました。次のように語っています。

「日本人だけはずっと、未来 永劫、核に対してアレルギーを持ってほしい」。
「どういう形にせよ、核の傘に入っているにせよ、あれだけひどい広島長崎の
原爆被害があったんだから、それをみんなしっかり勉強して、どんな状況でも
核兵器はノーと言ってほしい」。

「原子力の発電というのは、特に日本ではやめなくてはいけない。これだけ
地震の多い国で、まったく安全ではない造り方、管理の仕方をしているわけ
ですから、どうやって廃炉にしていくかを考えないと」。「今、せっかく原発が
止まっているのだから、今やめましょうと」。

さらに吉永さんはこうも語っています。「まだ毎日、汚染水など現場で苦しい
思いの中で作業していらっしゃる方がたくさんいる。そういう中で、外国に原
発を売るというのは、とても考えられないことです」。(以上、8月6日朝日新
聞朝刊から引用)

原爆だけでなく、原子力利用の発電にも警告を語り続ける吉永さんの「志」
のつよさと熱意に脱帽します。ひとりの発言が、それを語り続けることによっ
て多くの人に伝わっていく。そこから連帯が生まれ、世の中が変っていく。そ
れは社会にとって、ひとつの希望ではないでしょうか。

吉永さんの率直な発言に、それを思いました。

人と共に、自然と共に、地域と共に生き、互いに支え合い助け合う「ともい
き」という生活の価値観。生きている喜びを実感できる社会。互いによい知恵
を合わせて魅力あるモノを創り出す「ともうみ」の技。そして共に幸せを味わ
える「ともさち」社会。

私たちのNPO PTPLがアピールしているのは、この3つの考え「ともいき」「と
もうみ」「ともさち」です。そして、それらを総合する新しいキーワードが「ジ
ャパネスク」。ホームページをぜひご覧ください。 <http://japanesque.pw/>

蝉の声が、心なしか弱くなってきました。桜の葉が黄色く色づいて散ってい
ます。やはり、「立秋」なのですね。

朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

“お天道様が見てますよ。”

子どもの頃、いたずらをしたり、悪いことをすると“お天道様（オテントサマ）が見てますよ。”とよく母に叱られたものです。

“人が見ていないからと言って、悪いことをしてはいけません。お天道様はちゃんと見てるんですから”と叱られ、躰けられて育った記憶がいまだに鮮明に残っています。

悪いことをしてしまった後のお天道様が見ているという後ろめたさ……。

あの気分がいまでは懐かしく感じられます。

悪いことをしない、人に迷惑をかけないという日本人の素養は、このような「躰け言葉」からも育まれてきたのでしょう。

このような「躰け言葉」がだんだんと消えていくのはさみしいことですし、それ以上にもったいないことです。

日本の社会に長く根付き、文化や慣習となってきたもの「日本流」を捨てようとする傾向が昨今見られますが、これまで維持されてきた「日本流」には長所がたくさんあるはず。「日本流」を大切にしようではありませんか!!

●このような昔ながらの「躰け言葉」などをご存知の方、是非、NPO PTPLにお知らせください。

●御天道様（おてんとさま）

「天地を支配する神の意」。「太陽」の意の口語的表現。

（「三省堂・新明解国語辞典」より。）

●人と人、人と自然の「ともいき」が生んだ言葉の国、日本。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●大雨と酷暑

8月に入り、台風12号の影響で九州、四国地方は大雨が降り、特に四国高知では3日間で1000ミリ以上の大雨を記録した地域が3か所に上りました。

（8月4日現在）

さらにこの便りが皆さんに届くころには台風 11 号も九州・四国地方に接近すると予測されています。地盤が緩んでいるところに、またも台風 11 号の接近……。土砂災害、洪水には十分にお気を付けください。特にこの時期は夏休みでお盆休暇に入ります。涼を求め、家族で河原に出かけることが多くなります。大雨の後の川の急激な変化には十分に気をつけてください。

一方、関東は連日の猛暑日。少し外に出るだけで、汗だくです。今年は一段と日差しの厳しさを感じているのは私だけでしょうか？ 皆さん、くれぐれも熱中症対策を怠りなく。

●絵本「まなつのみみず」を 3 名様にプレゼント。

NPO PTPL 理事のすとうあさえさんが「まなつのみみず」という絵本を佼成出版社より出版しました。これを記念して、ともいき便りをお送りしている方を対象に 3 名様にプレゼントいたします。お申し込みはメールか FAX でお願いします。締め切りは 9 月 1 日〈月〉です。YouTube にて歌が聞けます。アクセスしてみてください。



● Facebook 「ともいきぐらし」 (<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)
「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」 (<https://www.facebook.com/oragafuji>)
「ジャパネスク」のサイト (<http://japanesque.pw/>) をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル 7 階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp